

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サーベル・パール	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サーベル・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4-1/2 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：リット・パール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

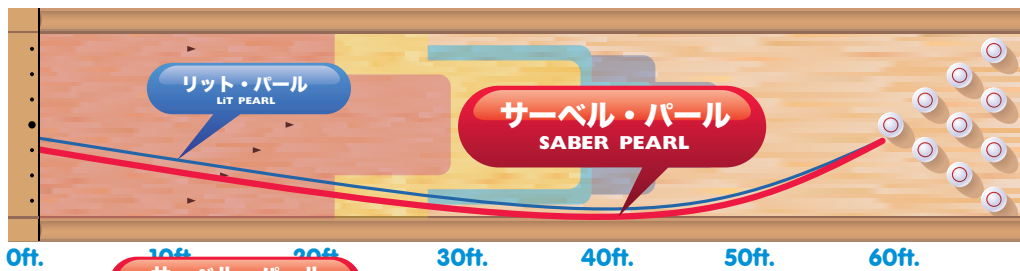
ポリッシュ

PAPからピンとの距離

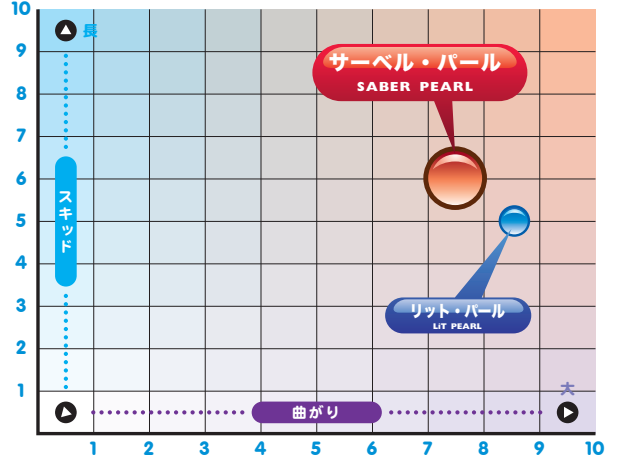
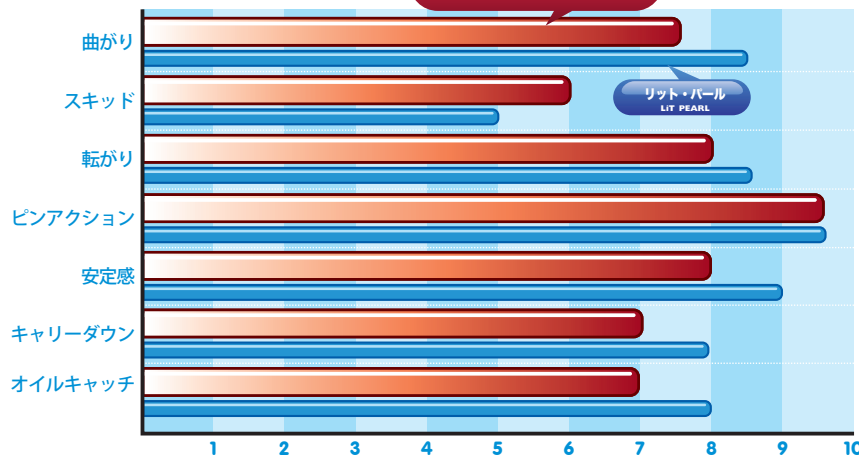
4-1/2 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

コロムビア社のUpper Mid Performance(ORANGE LINE)を支えるSABER。REFLEX SOLIDリアクティブ、NEW DYNAMIXコアの組み合わせは柔軟性の高いカバーの特性とSOLIDカバーとの相乗効果で強く持続的な曲がり特徴です。今回リリースするSABER PEARLは柔軟性の高いREFLEXカバーの主体をPEARL素材にして、SABERに見られたレーン中盤から見られた持続的な強い曲がりピンヒット近くに表したUpper Mid PerformanceでもMid Level Performanceとのちょうど中間に位置するボールです。

テストングの感想はSABERと比べてSABERのMidで一回止まりながら最後まで曲がり続ける印象から一転、かなり直線的に走りがあり、ドライゾーンでの動きが強調されているのがわかります。私の場合はどのレベルでもMidで一回曲がりが見え隠れするボールが扱いやすく感じるので、そこを越えて先で強く動きを出そうとするボールは少々戸惑います。

特にNEW DYNAMIXコアはコロムビア社の中でも1・2を争う奥で動きが出せるコアですので、大きなネジれはバックエンドで急激に現れる感じ。コロムビア社からのテスト時に数個ボールが届きましたので表面加工も変えながらテストしましたが、Box Finish(箱だし)よりもほんの少しだけ光沢を消したバージョンは、Pearlの素材の良さと安定したキャッチ、Hyper Shock Technologyの旨みも加わり大幅に対応コンディションが広がります。コロムビア・トラック社のボール、特にPearlとHybridのカバーの面白さはBox Finishからほんのり表面の加工を変えることで劇的にパフォーマンスを変えることができること。また最近の開発でPearl,Hybridに奥行き深い性能の良さが光っているのが分ります。

この先きっとコロムビア・トラックのボールはABS1・2の売り上げを誇るボールになるでしょう。

特記事項

SABERの力強い曲がりから一転したバックエンドに着目したシャープなリアクション。柔軟性の高いREFLEXカバーのPearlバージョン。もちろんHyper Shock Technologyです！